

科目名	声優実技研究Ⅲ	科目ナンバリング	VA1V1N01
担当者	小松野 希海 他		
担当形態	単独	単位数	3単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次
開講時期	前期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
	※		
	音楽療法	ディプロマポリシー	
		ABCDEF	
備考			

授業のテーマ及び到達目標	声優に必要な身体表現について実践的に学ぶ。自らの声と身体を研究する中で、表現者としての基礎となる力を養う。			
授業の概要	現役の声優、音響監督等、実際の現場に立つ講師陣から、声優として必要なスキルや声優業界についての知識や現状について実践的に学ぶ。演技力、表現力、本番感覚等、表現者として必要とされる総合的な基礎力を養うため、作品を創作しステージ公演を行う。表現者としての基礎となる土台を築く。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	3	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	4	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	5	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	6	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	7	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	8	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備

	9	特別授業	講師より事前に与えられた課題に取り組む	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	10	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	11	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	12	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	13	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	14	作品創作仕上げ	発表に向けての準備	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	15	作品発表	発表に向けての準備	発表を経て気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	40%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	30%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	発表から演技者として必要なものを考察する	

科目名	声優実技研究Ⅳ	科目ナンバリング	VA1V1N02		
担当者	小松野 希海 他				
担当形態	単独	単位数	3単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	声優に必要な身体表現について実践的に学ぶ。自らの声と身体を研究する中で、表現者としての基礎となる力を養う。			
授業の概要	現役の声優、音響監督等、実際の現場に立つ講師陣から、声優として必要なスキルや声優業界についての知識や現状について実践的に学ぶ。演技力、表現力、本番感覚等、表現者として必要とされる総合的な基礎力を養うため、作品を創作しステージ公演を行う。表現者としての基礎となる土台を築く。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	3	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	4	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	5	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	6	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	7	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	8	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備

	9	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	10	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	11	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	12	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	13	演技基礎演習、作品創作	課題文の練習、録音	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	14	作品創作仕上げ	発表に向けての準備	授業で学んだ内容を復習、基礎練習、作品創作準備
	15	作品発表	発表に向けての準備	発表を経て気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実 基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実 基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	40%	出席、課題への積極的な取り組み
	発表	30%	課題から学んだことを活かし発表する
	レポート	30%	発表を経て、気づいたこと、学んだことを書く

科目名	ボーカル実技Ⅲ	科目ナンバリング	VA1V1E11		
担当者	石本 皓資				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	解剖学など科学的なメソッドをベースとし、発声の基本的なメカニズムの学習を促し、自分自身の知識に入れ、情報過多な現代社会の中で正しい情報を取捨選択できる能力を形成していくことを課題として取り入れる。なぜ自分の声がかうなっているのか分析できる能力の獲得を根底におきながら、基盤である地声と裏声の形成をしていくことを重視していき、発声の基礎が習得できた後は最新のポップス歌唱に必要な知識と技術を習得、様々な声の音色を奏でられるようにした上で歌唱法を獲得していく。			
授業の概要	呼吸の理解、腹式呼吸のコントロール、地声の形成、裏声の形成、胸部共鳴、咽頭腔共鳴、口腔共鳴、鼻腔共鳴、頭部共鳴、声量の獲得、声区の理解、換声点の理解、音程の正確さの向上、リズム感の向上、歌詞の読み解き方、コード理論の基礎、様々な声の獲得(チェストボイス、ヘッドボイス、エッジボイス、ウィスパーボイス、ファリンジアルボイス、ネイザル、ロウラリ、ハイラリ、ベルティングボイス、ミックスボイス、ラスピーボイス)様々な歌唱法の獲得(ビブラート、フェイク、ベンドアップ、フォール)			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 座学 基本の呼吸法	シラバスを読む	今回分の座学と実技の練習
	2	座学(声と呼吸の基礎) 発声練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	3	座学(声帯のコントロール) 発声練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	4	座学(発声と舌の関係性) 発声練習 選曲	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	5	現在の歌唱レベルの測定、発表課題を見つける	前回分座学と実技の復習	自分の課題と向き合う
	6	座学(パーツアプローチ) 発声練習 歌唱練習	課題に対しての自己評価	今回分の座学と実技の練習
	7	座学(身体の共鳴) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	8	座学(歌唱法) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習

	9	座学(歌唱技術) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	10	現在の歌唱レベルの測定、発表 課題を見つける	前回分座学と実技 の復習	自分の課題と向き 合う
	11	総合練習 呼吸法－発声練習－歌唱練習	課題に対しての自 己評価	今回分の座学と 実技の練習
	12	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	13	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	14	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	15	まとめ(課題曲のソロ歌唱による試験)	試験で歌唱する課 題曲の練習	発声練習、授業で 歌唱した課題曲 の練習

使用教科書	講師作成資料配布
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	20%	出席、課題への積極的な取り組み
課題発表	40%	授業を通して学んだことを活かし発表する	
試験	40%	全授業を通して学んだことを活かし発表する	

科目名	ボーカル実技Ⅳ	科目ナンバリング	VA1V1E12		
担当者	石本 皓資				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	解剖学など科学的なメソッドをベースとし、発声の基本的なメカニズムの学習を促し、自分自身の知識に入れ、情報過多な現代社会の中で正しい情報を取捨選択できる能力を形成していくことを課題として取り入れる。なぜ自分の声がかかっているのか分析できる能力の獲得を根底におきながら、基盤である地声と裏声の形成をしていくことを重視していき、発声の基礎が習得できた後は最新のポップス歌唱に必要な知識と技術を習得、様々な声の音色を奏でられるようにした上で歌唱法を獲得していく。			
授業の概要	呼吸の理解、腹式呼吸のコントロール、地声の形成、裏声の形成、胸部共鳴、咽頭腔共鳴、口腔共鳴、鼻腔共鳴、頭部共鳴、声量の獲得、声区の理解、換声点の理解、音程の正確さの向上、リズム感の向上、歌詞の読み解き方、コード理論の基礎、様々な声の獲得(チェストボイス、ヘッドボイス、エッジボイス、ウイisperボイス、ファリンジアルボイス、ネイザル、ロウラリ、ハイラリ、ベルティングボイス、ミックスボイス、ラスピーボイス)様々な歌唱法の獲得(ビブラート、フェイク、ベンドアップ、フォール)			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを読む	今回分の座学と実技の練習
	2	座学(ウイisperボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	3	座学(エッジボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	4	座学(ファリンジアルボイス) 発声練習 歌唱練習	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	5	現在の歌唱レベルの測定、発表課題を見つける	前回分座学と実技の復習	自分の課題と向き合う
	6	座学(ベルティングボイス) 発声練習 歌唱練習	課題に対しての自己評価	今回分の座学と実技の練習
	7	座学(ミックスボイス) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習
	8	座学(ラスピーボイス) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技の復習	今回分の座学と実技の練習

	9	座学(声の応用) 発声練習 歌唱指導	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	10	現在の歌唱レベルの測定、発表 課題を見つける	前回分座学と実技 の復習	自分の課題と向き 合う
	11	総合練習 呼吸法－発声練習－歌唱練習	課題に対しての自 己評価	今回分の座学と 実技の練習
	12	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	13	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	14	個別カウンセリング＋セッション 15分×3～4名	前回分座学と実技 の復習	今回分の座学と 実技の練習
	15	まとめ(課題曲のソロ歌唱による試験)	試験で歌唱する課 題曲の練習	発声練習、授業で 歌唱した課題曲 の練習

使用教科書	講師作成資料配布
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	20%	出席、課題への積極的な取り組み
課題発表	40%	授業を通して学んだことを活かし発表する	
試験	40%	全授業を通して学んだことを活かし発表する	

科目名	ダンス実技Ⅲ	科目ナンバリング	VA2V1N19		
担当者	長江 美佳				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修				ABCDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	ダンスの基本的技術・知識を身につけ、音楽に合わせて仲間と一緒に踊り、ダンスの制作・発表ができるようになる			
授業の概要	自分自身の体力を知り、ダンスの種類を知る。人間形成・人格形成といった視点に立ち、ダンスを通して、仲間と協力し準備・運動をしながらコミュニケーション能力を養う			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション リズムトレーニング	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる
	2	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	3	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	4	ストリートダンス ジャンル①ー1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	5	ストリートダンス ジャンル①ー2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	6	ストリートダンス ジャンル②ー1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	7	ストリートダンス ジャンル②ー2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
	8	ストリートダンス ジャンル③ー1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる

	9	ストリートダンス ジャンル③ー2	体調を整え、準備物の確認しておく	本時で学び得たことをまとめる
	10	ストリートダンス ジャンル④ー1	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	11	ストリートダンス ジャンル④ー2	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	12	まとめ 振付	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	13	まとめ 振付練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	14	まとめ 振付練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	15	発表 まとめ	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	80%	学んだ成果を十分に発揮しているか
平常点(態度)	20%	意欲的に練習に取り組んでいるか	

科目名	ダンス実技Ⅳ	科目ナンバリング	VA2V1N20		
担当者	長江 美佳				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修				ABCDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	1年、2年前期で作った体と表現力を活かして2分～2分半程度の作品を作る			
授業の概要	作品を作ることを通して、個々だけではなくチームワークの大切さを学び、ステージに立つイメージで踊る意識を高める			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	振付・フォーメーションを覚える	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる
	2	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	3	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	4	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	5	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	6	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	7	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	8	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる

	9	振付・フォーメーションを覚える	体調を整えておく	本時で学び得たことをまとめる
	10	振付・フォーメーションを覚える	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	11	振付・フォーメーションを覚える	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	12	振付・フォーメーションを覚える	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	13	振付・フォーメーションを覚える	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	14	振付テスト(個人・チーム)	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
	15	衣装にて発表、動画撮影	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる

使用教科書	
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	ダンス作品	50%	振付の出来栄え・表現力
平常点(態度)	50%	後期を通してのチームワーク	

科目名	創作コミュニケーション I	科目ナンバリング	VA2V1N37
担当者	亀井 純太郎		
担当形態	単独	単位数	2単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次
開講時期	前期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
		音楽療法	ディプロマポリシー
			ACDEF
備考			

授業のテーマ及び到達目標	社会で通用する人間力を養う。仕事の現場でトラブルを起こさない、他者と円滑な関係を結ぶことができる職業人・舞台人としての人間力を高める。			
授業の概要	演劇的手法を用いたワークショップで、正解のない課題に小グループで取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	2	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	3	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	4	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	5	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	6	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	7	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	8	中間発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

	9	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	10	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	11	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	12	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	13	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	14	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	15	発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

使用教科書	適宜、必要な資料を配布
参考書・参考資料等	「わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か」(講談社)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	創作コミュニケーションⅡ	科目ナンバリング	VA2V1N38
担当者	亀井 純太郎		
担当形態	単独	単位数	2単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次
開講時期	後期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
		音楽療法	ディプロマポリシー
			ACDEF
備考			

授業のテーマ及び到達目標	社会で通用する人間力を養う。仕事の現場でトラブルを起こさない、他者と円滑な関係を結ぶことができる職業人・舞台人としての人間力を高める。			
授業の概要	演劇的手法を用いたワークショップで、正解のない課題に小グループで取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	2	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	3	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	4	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	5	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	6	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	7	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	8	中間発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

	9	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	10	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	11	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	12	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	13	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	14	場面創作 グループで一つの作品を創作する中で、自己と他者の違いを認識し、他者と協働する力を養う。	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する
	15	発表 作品をお互いに見合う	前回の振り返りを確認する	シートに振り返りを記入し授業中の気づきを言語化する

使用教科書	適宜、必要な資料を配布
参考書・参考資料等	「わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か」(講談社)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する	
レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する	

科目名	舞台発声表現 I	科目ナンバリング	VA2V1N43
担当者	小松野希海		
担当形態	単独	単位数	2単位
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次
開講時期	前期		
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士
	音楽療法	ディプロマポリシー	
	必修		ABF
備考			

授業のテーマ及び到達目標	感情を音声として表現するための呼吸のコントロール、呼吸のコントロールのための柔軟性のあるしっかりとした身体づくりに加え、喉への負担が少ない発声法を身に着ける。			
授業の概要	身体づくり、呼吸のコントロールを継続して行うとともに、発声においては、喉への負担がすくない、自分のナチュラルな声での発声、セリフを相手に届けるための発声を目指し、基礎練習や課題に取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを読んでおく	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	身体づくり、呼吸、発声法(共鳴)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	身体づくり、呼吸、発声法(支え)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	身体づくり、呼吸、発声法(音程)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	身体づくり、呼吸、発声法(音色)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	身体づくり、呼吸、発声法(ボリューム)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	身体づくり、呼吸、発声法(息のスピード)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	身体づくり、呼吸、発声法(支え)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	身体づくり、呼吸、発声法(ハミング)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	10	身体づくり、呼吸、発声法(ロングトーン)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	11	身体づくり、呼吸、発声法(座って発声)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	12	身体づくり、呼吸、発声法(壁を使って発声)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	13	身体づくり、呼吸、発声法(立って発声)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	14	身体づくり、呼吸、発声法(いろいろな体勢で発声)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	15	まとめ	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業全体での気 づきや学びを書く

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	70%	出席、課題への積極的な取り組み
レポート	30%	授業・課題を通しての気づきや学びを書く	

科目名	舞台発声表現Ⅱ	科目ナンバリング	VA2V1N44		
担当者	小松野希海				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修				ABF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	感情を音声として表現するための呼吸のコントロール、呼吸のコントロールのための柔軟性のあるしっかりとした身体づくり、喉への負担が少ない発声法に加え、言葉を相手に届けるための滑舌の基礎を身に着ける。			
授業の概要	身体づくり、呼吸のコントロール、喉への負担がすくない、自分のナチュラルな声での発声、セリフを相手に届けるための発声を行うための訓練を継続するとともに、言葉をしっかりと伝えるための滑舌の基礎を身に着けることを目指し、基礎練習や課題に取り組む。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション	シラバスを読んでおく	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(顔の筋肉)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(言葉の芯)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(顔の筋肉の方向と支え)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(顎の開け方)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(舌の支え)	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(口蓋)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(母音①舌の先の一)、課題	日々の身体づくりや基礎練習、課題	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(母音②発声)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	10	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(母音③響く場所)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	11	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(子音①50音)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	12	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(子音②濁音・半濁音)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	13	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(子音③拗音)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	14	身体づくり、呼吸、発声、滑舌(子音④鼻濁音)、課題	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業で学んだ内 容を復習、基礎練 習
	15	まとめ	日々の身体づくり や基礎練習、課題	授業全体での気 づきや学びを書く

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	70%	出席、課題への積極的な取り組み
	レポート	30%	授業・課題を通しての気づきや学びを書く

科目名	ミュージカル研究 I (ミュージカル研究)	科目ナンバリング	VA2V1N23/MC1M3N36		
担当者	小松野 希海				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	両学科共通	開設学年	2年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BCDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	芝居・歌・ダンスが一体となって劇的効果をもつミュージカルの一場面を実際に創作し、体感することで、ミュージカル作品への興味関心を高める。さまざまな表現方法を体得する。			
授業の概要	ミュージカルの一場面を協力して創作する。芝居・ダンス・歌をそれぞれやるのではなく、それらが一体となって物語の盛り上がりをつくっていることを実際にやることで体感する。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 課題曲: 全員で声を合わせて力強い場面を表現する(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	課題曲: 全員で声を合わせて力強い場面を表現する(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	課題曲: 全員で声を合わせて力強い場面を表現する(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	課題曲: 全員で声を合わせて力強い場面を表現する(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	課題曲: 全員で声を合わせて力強い場面を表現する(5)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	課題曲: リズムに乗って楽しい場面を表現する(1)	課題曲を事前に聞く	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	課題曲: リズムに乗って楽しい場面を表現する(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	課題曲: リズムに乗って楽しい場面を表現する(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	課題曲:リズムに乗って楽しい場面を表現する(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	10	課題曲:リズムに乗って楽しい場面を表現する(5)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	11	課題曲:言葉だけでなく身体を使って場面を表現する。さまざまな役を演じる(1)	課題曲を事前に聞く	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	12	課題曲:言葉だけでなく身体を使って場面を表現する。さまざまな役を演じる(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	13	課題曲:言葉だけでなく身体を使って場面を表現する。さまざまな役を演じる(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	14	課題曲:言葉だけでなく身体を使って場面を表現する。さまざまな役を演じる(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	15	課題曲:言葉だけでなく身体を使って場面を表現する。さまざまな役を演じる(5)まとめ	課題曲の練習	授業を通して気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
	発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する
	レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する

科目名	ミュージカル研究Ⅱ	科目ナンバリング	VA2V1N24		
担当者	小松野 希海				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	未来創造学科	開設学年	2年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				BCDE
備考	※声優コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	芝居・歌・ダンスが一体となって劇的効果をもつミュージカルの一場面を実際に創作し、体感することで、ミュージカル作品への興味関心を高める。さまざまな表現方法を体得する。			
授業の概要	ミュージカルの一場面を協力して創作する。芝居・ダンス・歌をそれぞれやるのではなく、それらが一体となって物語の盛り上がりをつくっていることを実際にやることで体感する。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 課題曲：手拍子、ダンス、フォーメーションなどで盛り上がる場面を表現する(1)	シラバスを確認する	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	2	課題曲：手拍子、ダンス、フォーメーションなどで盛り上がる場面を表現する(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	3	課題曲：手拍子、ダンス、フォーメーションなどで盛り上がる場面を表現する(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	4	課題曲：手拍子、ダンス、フォーメーションなどで盛り上がる場面を表現する(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	5	課題曲：手拍子、ダンス、フォーメーションなどで盛り上がる場面を表現する(5)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	6	課題曲：声のハーモニーや曲調の変化、セリフなどさまざまな要素が含まれている場面を表現する(1)	課題曲を事前に聞く	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	7	課題曲：声のハーモニーや曲調の変化、セリフなどさまざまな要素が含まれている場面を表現する(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	8	課題曲：声のハーモニーや曲調の変化、セリフなどさまざまな要素が含まれている場面を表現する(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習

	9	課題曲: 声のハーモニーや曲調の変化、セリフなどさまざまな要素が含まれている場面を表現する(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	10	課題曲: 声のハーモニーや曲調の変化、セリフなどさまざまな要素が含まれている場面を表現する(5)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	11	課題曲: それぞれの役の心情が折り重なる場面を表現する(1)	課題曲を事前に聞く	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	12	課題曲: それぞれの役の心情が折り重なる場面を表現する(2)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	13	課題曲: それぞれの役の心情が折り重なる場面を表現する(3)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	14	課題曲: それぞれの役の心情が折り重なる場面を表現する(4)	課題曲の練習	授業で学んだ内容を復習、基礎練習
	15	課題曲: それぞれの役の心情が折り重なる場面を表現する(5)まとめ	課題曲の練習	授業を通して気づいたことをレポートにまとめる

使用教科書	ヴォイステクニックの真実基礎編(上)呼吸・発声(オーム社),
	ヴォイステクニックの真実基礎編(下)滑舌・ストレッチ(オーム社)
参考書・参考資料等	適宜、必要な資料を配布

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	出席、課題への積極的な取り組み
	発表	20%	課題から学んだことを活かし発表する
	レポート	30%	授業を通して気づいたことを考察する